

大阪港 B C P 協議会 情報伝達訓練実施要領

1. 目的

平成 28 年 3 月に策定した大阪港 B C P の実効性の向上および平常時から災害に対する意識向上を図るとともに、港湾 B C P の検証・改善することを目的とする。

本訓練は、大阪港 B C P における災害対応計画の(1)初動対応にもとづき、協議会構成員は災害発生後の状況について協議会事務局に報告するとともに、事務局は集約した情報等を各構成員と共有する流れを確認する。

なお、今回の訓練は、大阪市震災総合訓練の一環として、発災後 28 時間後の想定状況下における情報伝達訓練として実施する。

2. 訓練の想定

- ・想定地震： 南海トラフ巨大地震（海溝型）
- ・発生日時： 平成 29 年 1 月 17 日（火）9：00 発災【休日想定】
- ・地震規模： マグニチュード 9.1
- ・大阪市内最大震度： 震度 6 弱

発災後 28 時間後の状況下を想定

3. 訓練の概要

平成 29 年 1 月 17 日 13 時、事務局から構成員（別添連絡先）あてに FAX および E メールにより、緊急連絡表（別添資料）を送付する。

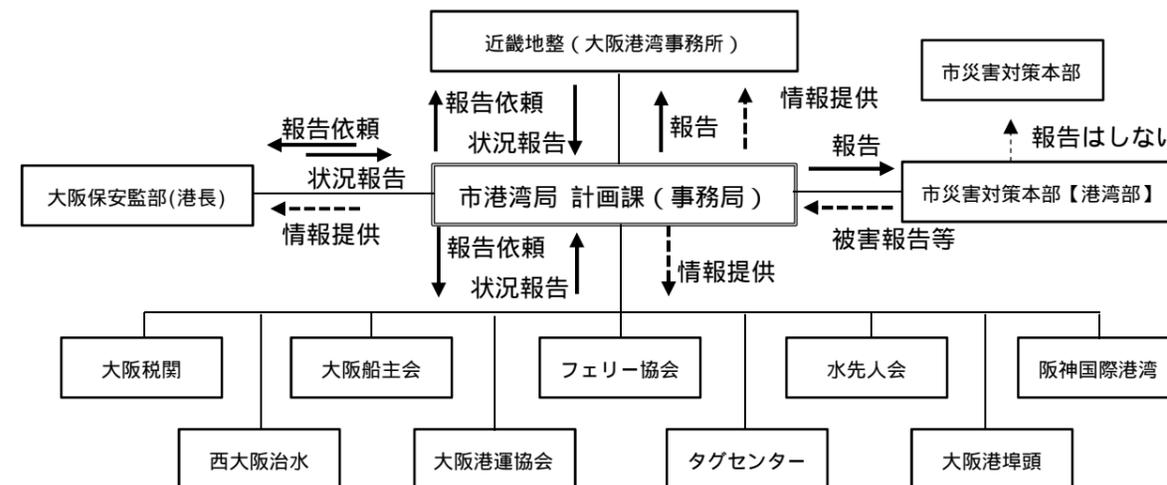
構成員は、FAX または E メール（先に受信確認できたもので結構です）により受信した緊急連絡表に必要事項を記入し、事務局へ FAX または E メールにより回答を行う。

報告項目	記載事項等
安否確認（参集状況）	1 月 17 日 13 時現在における各機関での出勤人数を記載ください。
通信手段の確保（利用可能な通信手段）	各機関での通信手段を記載ください。 TEL： - FAX： - Eメール： x x x@city.osaka.lg.jp 衛星電話： - - など
被害状況の確認（各自施設）	事前に配布する各機関施設の被災状況を転記してください。

事務局は、構成員からの報告項目を集約し、市災害対策本部港湾部および近畿地方整備局(大阪港湾空港整備事務所)へ報告するとともに、各構成員へ集約した情報を送付する。

15 時頃訓練終了予定。

訓練における情報の流れは下記のとおり



各自施設の被害状況の報告について

17 日の大阪港 B C P 訓練において、各機関から報告いただく各自施設の被害状況は、あらかじめ想定した下記例のうちから一つを記載し、報告してください。

報告例	記載例
報告例(1) 【被害 小】	一部ロッカーの転倒などはあるものの、執務室として使用可能 各種インフラ・通信環境も利用可能
報告例(2) 【被害 中】	建物の壁に亀裂あるが、執務室の利用可能。 電気、ガス、水道は停止。電気のみ自家発電対応 電子メール、インターネット環境は利用可能
報告例(3) 【被害 大】	執務室の天井落下。机、P C 等使用不可。 電気、ガス、水道、電話は停止。復旧のめどなし。 なお、別事務所（連絡先： ）で対応可能。 （通信手段がないため、口頭による対面報告とする）
報告例(4)	（適宜記入）

被害状況等を取りまとめ、上記のフローにより近畿地整及び市災害対策本部に報告します。

4. 連絡先

大阪港 B C P 協議会事務局 明松、藤谷

F A X : 06-6615-7789

Eメール：[tada-sakamoto@city.osaka.lg.jp](mailto:tada-sakamoto@city.osaka.lg.jp)

# 訓練

## 緊急連絡表

平成 29 年 1 月 17 日、午前 9 時頃、南海トラフを震源とする巨大地震が発生し、大阪市内で震度 6 弱を観測しました。

大阪港 B C P の発動基準を満たしたことから、次の項目について、各機関における状況を大阪港 B C P 協議会事務局まで報告ください。

本訓練は、地震発生後 28 時間経過したものとして実施します。  
また、津波注意報は解除された前提です。

機関名	
安否確認（参集状況）	
通信手段の確保 （利用可能な通信手段）	
被害状況の確認（各自施設）	

ご回答は FAX： 06 - 6615 - 7789

または Eメール：[y-kagari@city.osaka.lg.jp](mailto:y-kagari@city.osaka.lg.jp)

あてにお願いします。

お問い合わせ

大阪市港湾局計画整備部計画課 担当：明松(かがり)、藤谷

TEL：06 - 6615 - 7782

# 訓練

報告 1 / 2

平成 29 年 1 月 17 日に発生した南海トラフを震源とする巨大地震における  
大阪港 B C P 協議会構成員の被害状況等  
大阪港における港湾施設等の被災状況  
について、下記のとおり報告します。

報告先：大阪港 BCP 協議会構成員各位

報告日時：平成 29 年 1 月 17 日 14 時 45 分 ( 14 時 30 分時点)

## 大阪港 BCP 協議会構成員の被害状況等

	機関名	連絡の有無	参集状況(人)	被害状況			通信手段
				執務室利用( , x)	電気利用( , x)	通信利用( , x)	T : 電話 F : FAX E : メール
1	近畿地方整備局(大阪)	有	23				T,F,E
2	大阪海上保安監部	有	46				T,F,E
3	財務省 大阪税関	有	137				T,F,E
4	大阪府 西大阪治水事務所	無	不明	不明	不明	不明	不明
5	大阪市 危機管理室	有	不明				T,F,E
6	大阪市 建設局	有	550				T,F,E
7	大阪市 港湾局【事務局】		13				T,F,E
8	大阪船主会	有	3				T,F,E
9	大阪港運協会	有	6				T,F,E
10	大阪フェリー協会	有	50				T,F,E
11	大阪港外センター事業(協)	有	3				T,F,E
12	大阪湾水先人区水先人会	有	20				T,F,E
13	大阪港埠頭株式会社	有	4				T,F,E
14	阪神国際港湾株式会社	有	11				T,F,E

# 訓練

報告 2 / 2

## 大阪港の港湾施設等の被災状況

	種別	地区・箇所	被災状況	復旧目途
	道路	此花区 北港緑地付近 舞洲	・液状化により道路陥没 ・陥没により交差点通行止め	着手から3時間で復旧予定
	トンネル	港区 大阪港咲洲トンネル	・津波対応に伴う鉄扉閉鎖のため トンネル全面通行止め	浸水状況により開放予定
	橋梁	大正区 新木津川大橋	・新木津川大橋北詰で、地震動により落下物が走行車両に接触 ・全面通行止め	着手から3時間で復旧予定
	道路	住之江区 平林北付近	・液状化により道路陥没 ・陥没により交差点通行止め	着手から3時間で復旧予定
	道路	住之江区 南港大橋北詰交差点	・交差点で大型トレーラー横転 ・荷物散乱し、全面通行止め	着手から3時間で復旧予定

お問い合わせ： 大阪市港湾局計画整備部計画課 明松(かがり) 藤谷  
TEL:06-6615-7782

本報告をもちまして、1月17日の大阪港BCP協議会

情報伝達訓練は終了いたします。

ご協力いただきありがとうございました。

## 情報伝達訓練による課題（反省）

- ・ F A Xは一斉送信しても、通信に時間がかかり、相手方に届くまでに時間的ロスがある  
（13件の送信に約15分）
- ・ メールは相手方のメールボックスがいっぱいで受け取れないなど、通信環境があったとしても送信できないことがある
- ・ 報告内容について、「何を把握する必要があるか」を明確化し、回答を求める必要がある  
参集人数が必要か？
- ・ 夜間休日を含む緊急連絡体制を作成する必要がある  
資料3 - （緊急連絡体制表） 参照
- ・ 構成員から情報連絡をいただく様式を作成する必要がある  
資料3 - （大阪港BCP情報連絡シート） 参照
- ・ 民間と有線以外の通信手段を確保しておく必要がある  
資料4（アンケート結果） 参照